可搬形発電機

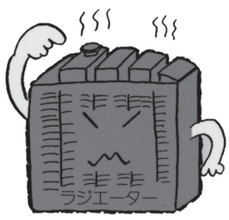
電気工事士法

電気機器の端末にコードをネジ止めする作業、ヒューズの取付け、取外し等の軽微な工事は、電気工事士ではなくても行う事ができます。(軽微な工事)但し、接地(アース)線を発電機に取付け、接地線相互もしくは接地線と接地極とを接続し、または接地極を地面に埋設する作業は電気工事士以外が従事してはならない旨が定められています。

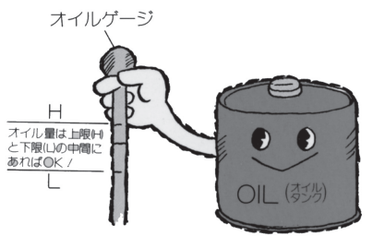
運転前の点検と準備

1.冷却水の確認

不足しているときは、清水を補給して下さい。冬季・寒冷季には、必ず不凍液を混入して下さい。

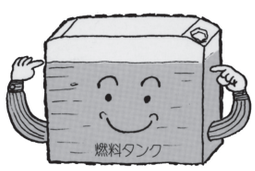


2.オイルの確認



3.燃料の確認

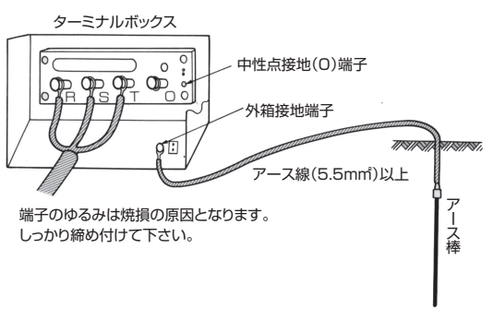
運転中に燃料が無くなると、燃料系統に空気が入り、エアー抜きをしないと始動出来なくなります。



アース(接地工事)の取付

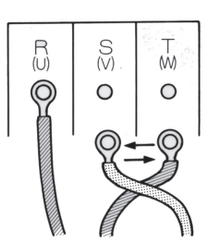
102.459 mm

発電機を据付けた時は、
必ず出力端子台付近に設けられている
アース端子を利用して、アース線を地中に
深く確実に埋めてください。



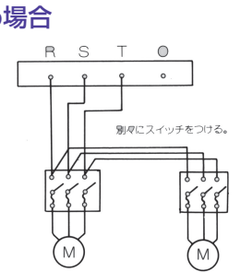
1.三相(200V)モーターの配線

モーターの回転が逆のとき、
又は逆転させたいときは
S端子とT男子を接ぎ替えて
下さい。



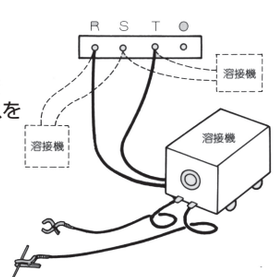
2.2台以上の動力を使う場合

各々の負荷に合った容量の
スイッチから分岐して
配線して下さい。



3.200V単相負荷(溶接機など)の配線

溶接機などの200V単相負荷を
接続するときは、負荷のバランスを
考え、別の端子を利用して
引出して下さい。



4.使用する電線の太さ

ケーブルは、第3種以上の
キャップタイヤケーブルを
使用して下さい。
ケーブルの長さは
50m以内とする。

モーターの出力(kW)	キャブタイヤケーブルの太さ(mm²)
11	22
22	22
30	38
37	50
45	80

キャブタイヤケーブルは、接地線付のものを使用するようにして下さい。